

アレルギー健診

花粉症や食物アレルギー・喘息・蕁麻疹を指摘された事がある方や、アレルギー検査をご希望の方はご相談下さい。当院のアレルギー検査には

【花粉症の方に】

●鼻汁好酸球検査：鼻汁のをスライドグラスに擦り、その中にアレルギーに關与する好酸球がどの程度見られるかを顕微鏡で観察します。

【花粉症・食物アレルギー・アトピー皮膚炎・喘息の方に】

●プリックテスト：皮膚にアレルギー抗原物質を滴下して皮膚のアレルギー反応（膨疹・紅班）が起きるかどうかをみます。

●血液検査

血液を採取して、アレルギー物質を特定しやすくするためにします。

必ずしも陽性反応が出たら原因物質であるとか、陰性だから原因物質ではないと確定することは時期早々のことがあります、

ある程度の可能性は考慮でき、原因からの回避や環境変化を行う事で、症状発症や悪化の抑制に繋がります。

※白血球の分類検査：白血球分類で好酸球が何パーセント含まれるかをみます。

血液にどの程度のアレルギー状態があるかの指標になります。

※非特異的IgE検査：全てのアレルゲン（抗原）に対するIgE抗体量を測ります。

※View39項目（特異的IgE検査）：花粉-吸入系、食物系、穀物系の多数の検査が1回で検査可能です。

※分類別個々のアレルギーセット検査：

- ①卵・牛乳・肉類（卵白、牛乳、豚肉、牛肉、鶏肉）
- ②魚・甲殻類（エビ、カニ、サバ、マグロ、サケ）
- ③くだもの（リンゴ、キウイ、メロン、モモ、スイカ）
- ④穀物・豆類（大豆、ソバ、小麦、米、ピーナッツ）
- ⑤環境（コナヒョウダニ、ヤケヒョウダニ、ハウスダスト、イヌ皮膚、ネコ皮膚）
- ⑥樹木（春の花粉）（スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカバ、コナラ）
- ⑦イネ科（春～夏の花粉）（ハルガヤ、カモガヤ、オオアワガエリ、アシ、ギョウギシバ）
- ⑧雑草（夏～秋の花粉）（ブタクサ、ヨモギ、フランスギク、タンポポ、アキノキリンソウ）

などスクリーニング的な5項目ずつの検査です。

※TARC(アトピー性皮膚炎の重症度の評価に有用な検査)

アトピー皮膚炎の方には、皮膚の状態がよくなればTARCの値も低下する為、現在の治療が適切が確認する事ができます。

当院診療は..6才未満は小児外来診療料を算定して、包括診療「診察・処置（点滴／吸入／小手術など）・検査（血液／レントゲン／超音波など）・院内点滴薬をし

ても一定の保険点数内で運営しております。

血液検査は外注検査で、非特異的IgE検査+View39（特異的IgE検査）で16,830円、分類別個々のアレルギーセット検査は6,050円の支払です。

この血液検査金額は、保険点数収入を1.5～4倍を超える持ち出しになり、包括診療内を考慮すれば血液の特異的IgE検査項目は1回に1～3項目までしかできません。

近年、アレルギーの患者さんは増加しており、国はアレルギー疾患のための包括診療を設けました。このような体制に困惑しながらも当院では6才未満の方の保険診療内でアレルギーの血液検査はでなくなりました。

6才以上の方は、これまで通り出来高払いの保険診療が使えますので、検査料金は3割負担の方なら5,000円ほどです。

緊急性のない方、診断書等書類を必要とされる方、または必要以上の項目数の血液検査希望のある方は、アレルギー血液検査健診（自費診療）をお勧めします。一度に沢山の種類のアレルギー検査ができるので、思いもしなかったアレルギーの原因が判明するかもしれません。

このような症状はありませんか

- ・ **皮膚症状** / かゆみ、じんましん、湿疹、赤くなる
- ・ **呼吸器症状** / 鼻水、鼻づまり、くしゃみ、咳、ゼイゼイ・ヒューヒューといった呼吸音
- ・ **目や口の粘膜症状** / 眼のまわりのかゆみ、充血、涙、唇・下の腫れや違和感
- ・ **消化器症状** / 下痢、嘔吐、吐き気
- ・ **その他症状** / 脈が速い、血圧低下、意識朦朧、アナフィラキシー

○ 解析に6日間かかります。

○ 検査料金は

※非特異的IgE検査+View39項目（特異的IgE検査）／18,000円、

※分類別個々の5項目アレルギーセット検査／7,200円。